

パーソナル情報システム(東京都港区)は、講演や同社システムの紹介を行う「第33回全国生鮮流通フォーラム」を3日にわたりオンラインで開催し、延べ500人以上が参加した。

初日は、農水省食料産業局食品流通課の金澤正尚卸売市場室長の講演や、横浜丸中ホールディングスの原田篤社長へのインタビューなどを配信した。

金澤室長は「改正卸売市場法の施行と今後の食品流通の合理化の推進」をテーマに、食料

品の流通合理化に向けた施策の流通合理化に向けた施策(国の関与が弱まる)との意見を紹介した。改正卸売市場法については、「公正な取引場法については、「公正な取引場」として認定するとともに、

パーソナル情報システムが「全国生鮮流通フォーラム」

## 「規制から振興に」改正市場法

### 金澤卸売市場室長が講演

市場ごとの実態を反映した取引ルールの設定を可能にするなど、これまでの規制的な法律から振興に舵を切った」と説明。市場関係者から寄せられし、理解を求めた。

原田社長へのインタビューは、市場法改正による経営の課題などについて市場流通ジャーナリストの浅沼進氏が話を聞いた。原田社長は、市場法改正について「全般的に高く評価している」とし、「商物分離、第3者販売、自己買受など、今まで取引の中で何となくグレ一だったところが明確になった」と述べた。「開設者である横浜市の協力のもと、自己買受を導入している」と明かした。